

答ヲ求メ同工場長ハ先ノ回答ヲ固執シテ容認スル概ハ
 不ト拒絶シ更ニ代表者等ハ手当ノ増額ヲ求メタル之亦
 拒絶ナリ辞去具後争議團ハ格別ノ行動ナシ
 尚争議團ニ於テハ本月二十六日午後七時ヨリ在館ニ
 柳島元次、田田、帝大セツツルメントハウスニ於テ争議
 批判演説會ヲ開催シタルヲ聴衆（約一五〇名）ノ大
 部介ハ自由聯合及黒色青年聯盟員ニシテ六十十
 二名ノ演説中八名ハ臨道警察官ヨリ中止ヲ命セラル
 タル状況ニテ何レモ直接行動ノ必要ヲ論スルモノヲ閉會後約
 五十分ニシテ集會ノ解散ヲ命セラル（各邦士ノ演説
 ハ三分乃至五分間位ニテ極メテ簡單ナルモノニ付テ省畧ス）
 右及「甲（通）報」候也。



26
 590

勞務券第二二一四號

大正十五年十月四日

警視總監 太田 政 弘

内務大臣 渡口 雄 幸 殿
 社會局長 菅長 國隆 一郎 殿
 京都、大阪、神奈川、兵庫、愛知
 各府縣 知 事 殿
 東京地方裁判所檢事正 殿

曰立製作所勞働争議ニ関スル件

（第七報）